

COVID-19発生施設における 「感染しない・させない」支援

広島大学病院 感染制御部

感染管理認定看護師 森 美菜子

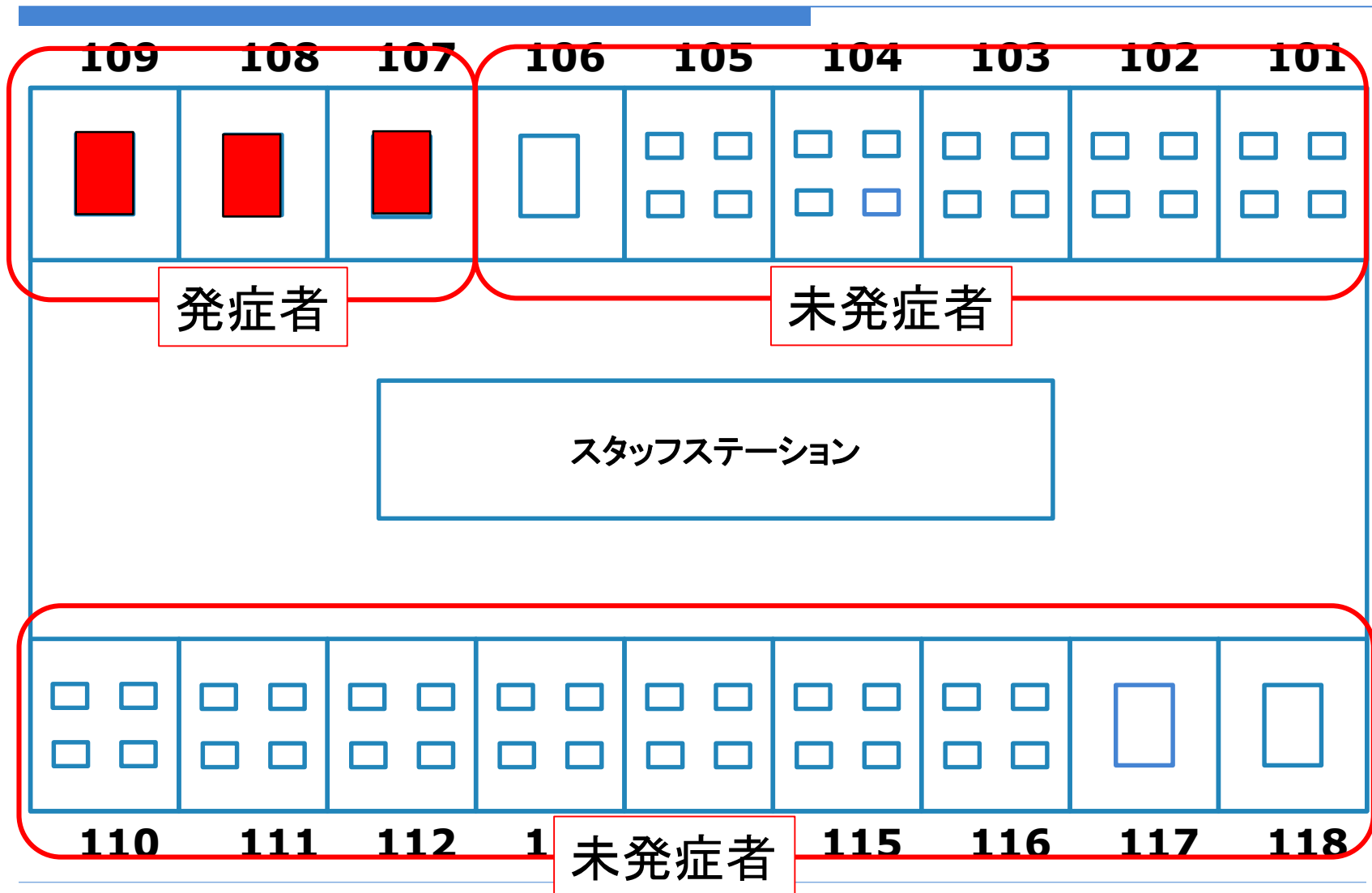
施設内でCOVID-19疑いが出た時

- 有症状者は一旦隔離
 - 新型コロナウイルスPCR陽性となれば、入院または施設内隔離かの判断あり
 - 接触者のPCR検査
-

施設内で陽性者を隔離する場合

- 個室に隔離
- 対応する職員は陽性者の専属配置が望ましい

病棟で隔離する時のゾーニング

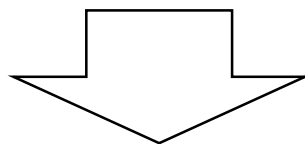


施設の機能維持のために

- 濃厚接触者のPCR検査と自宅待機により、出勤できない職員が多数いる
 - 応援派遣職員の協力を得て、施設の機能を維持させる
 - 残った職員で発症者の対応
 - 応援派遣職員は発症していない入所者の対応
-

未発症者に対応する時の注意点

- 接触者の中から、陽性者が出てくる可能性がある



COVID-19に準じた感染対策を要する

目標

- 仮に接触者から発症者が出た時でもさらなる感染拡大につなげない
-

施設支援時の感染対策のポイント

- 有症状者・発症者の早期発見と隔離
 - 防護具の適切な使用
 - 適切なタイミングでの手指衛生
-

有症状者が出た時の対応

- 発熱や呼吸器症状が出現したら、個室隔離
 - PCR検査の実施
 - 陽性の場合、発症者のエリアに移動
 - 陰性の場合、症状消失まで隔離継続
-

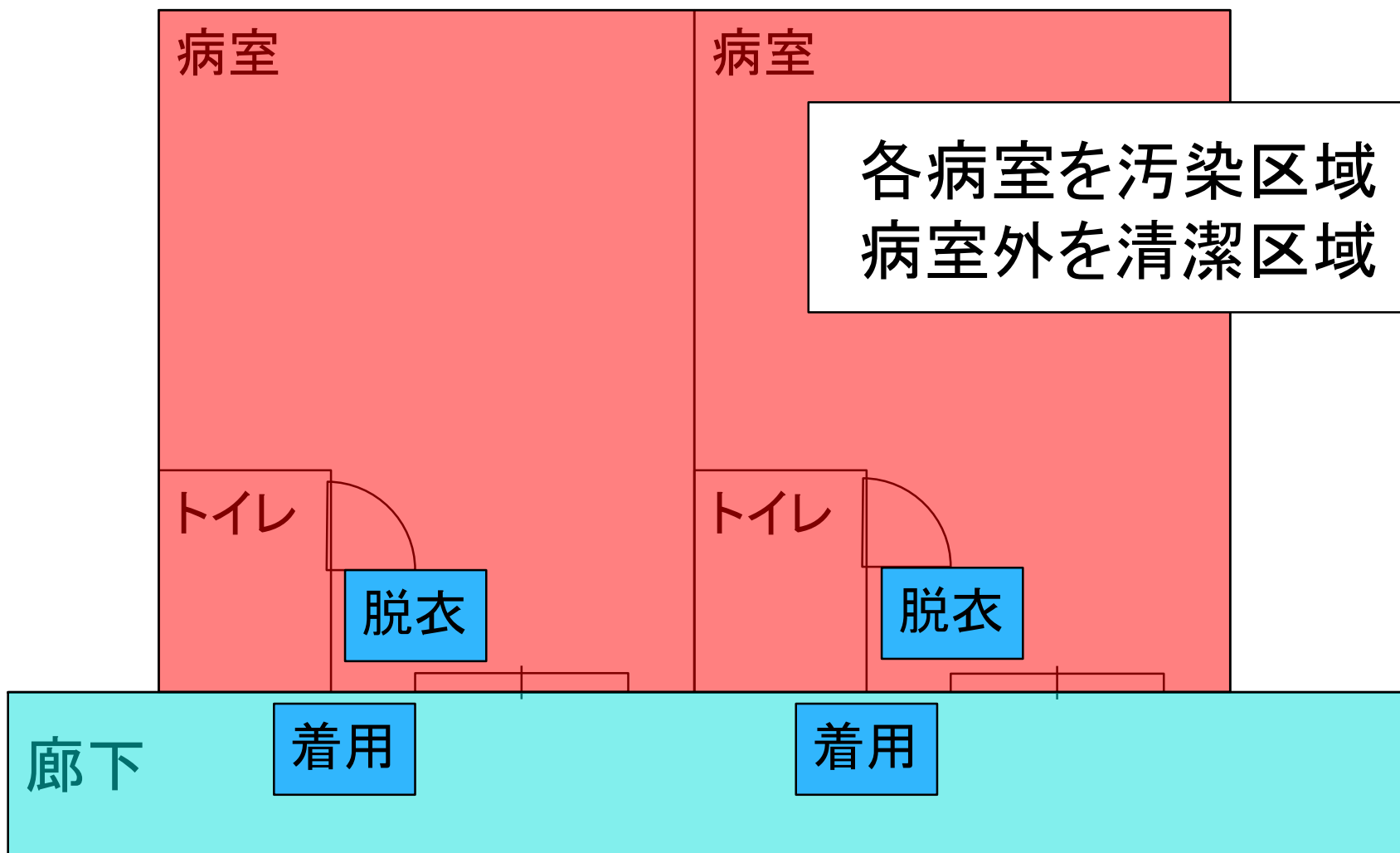
病床管理

- 3つのレベルに分ける
 - PCR陽性者/PCR陰性だが有症状者/PCR陰性で無症状者

 - やむを得ず多床室で管理する場合は、可能な限り有症状者を集めたコホート隔離が望ましい

 - コホート隔離もできない場合は、カーテン隔離も可
 - ゾーニングは明確にする
 - PCR陽性者とPCR陰性者は分ける
-

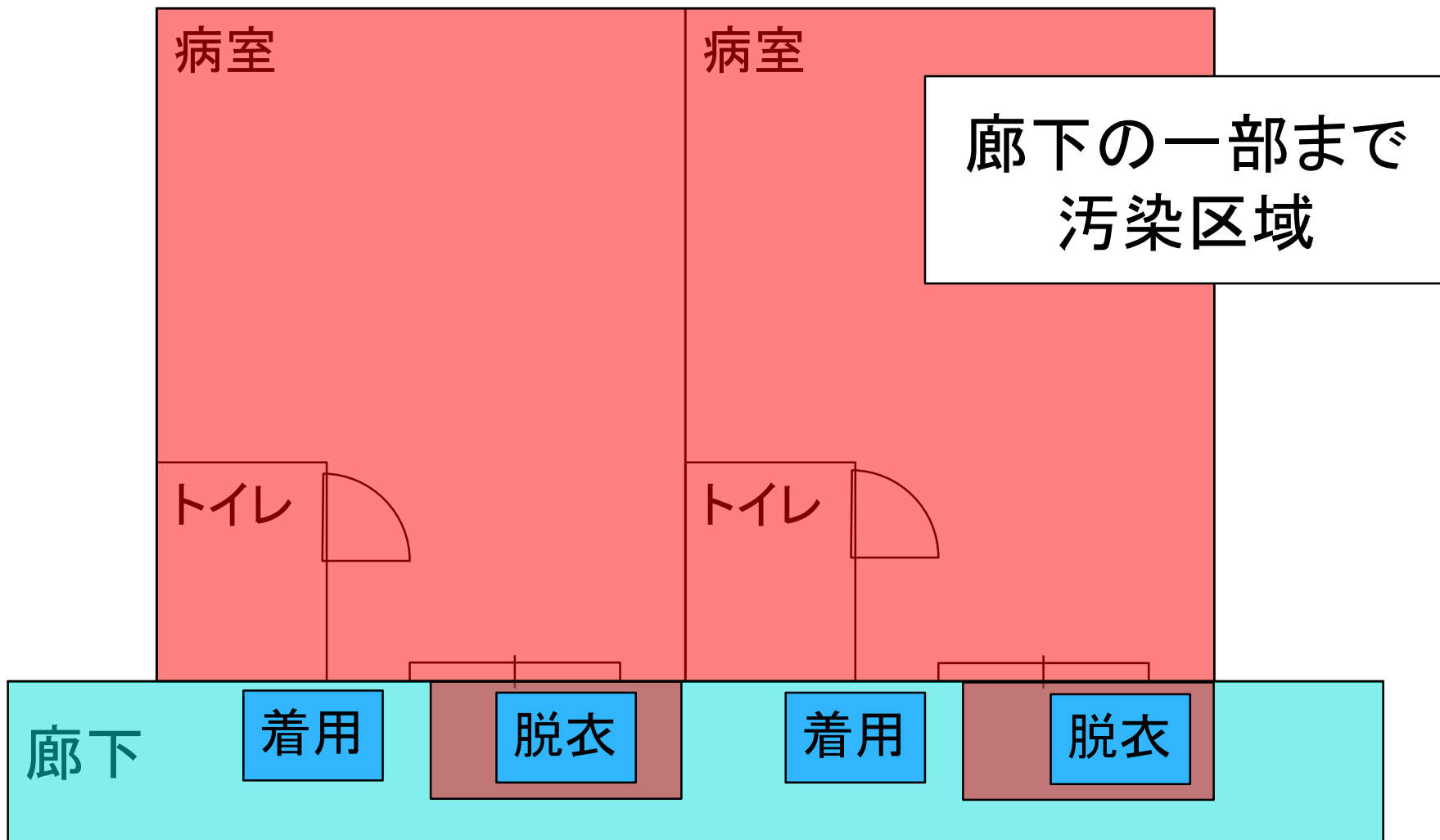
ゾーニング（基本パターン）



注意点

- 病室内のドアノブは汚染している可能性があるため退室後の手指消毒が重要
 - 脱衣場所は、脱衣するスタッフの数に応じて十分な広さを確保する
-

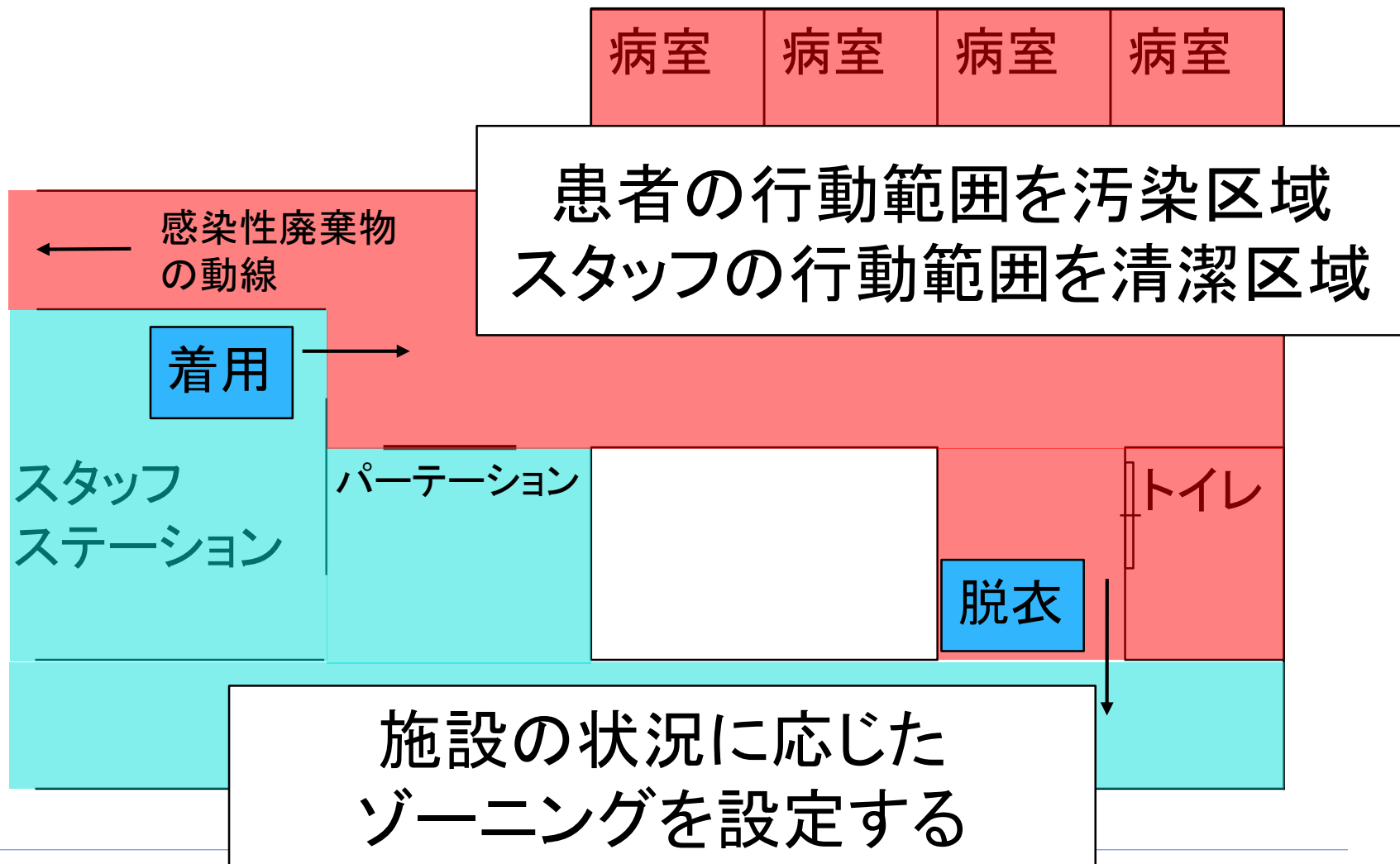
ゾーニング(その他の案)



注意点

- 着衣と脱衣の場所が隣接することで、交差感染をきたすリスクがないかの注意が必要
 - 廊下が狭く十分な脱衣スペースを確保できない場合や、他の患者や家族からの目が気になる場合には不向き
-

ゾーニング（病室での隔離困難な場合）



ゾーニング設定後に確認すること

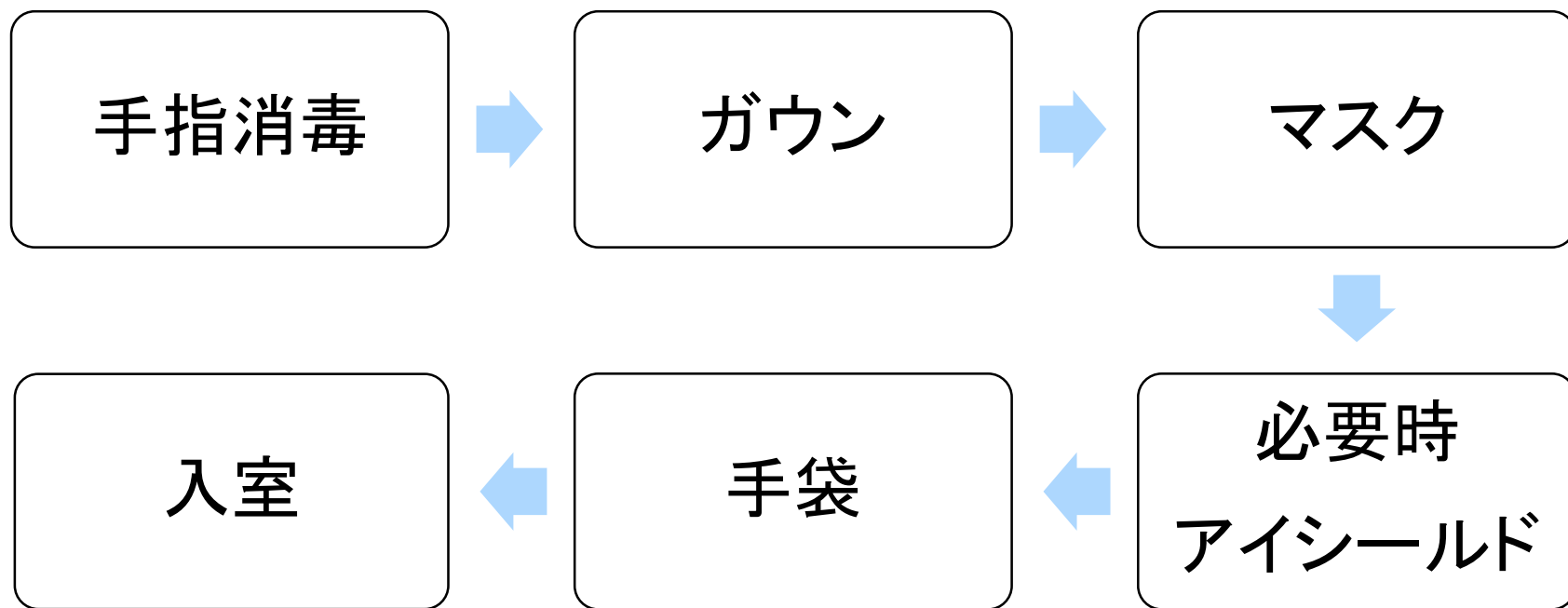
- 清潔区域と汚染区域を明確に区別して運用されているか
 - 手指衛生やPPEの着脱など、基本的な感染対策の手技が確実に行われているか
 - 管理者は日々運用状況の確認を行う
-

対応するときの防護具

- 手袋
- マスク
- ガウン
- エアロゾル発生時はN95
マスクとアイシールド



PPE着用の順番



手袋でガウンの袖を覆う

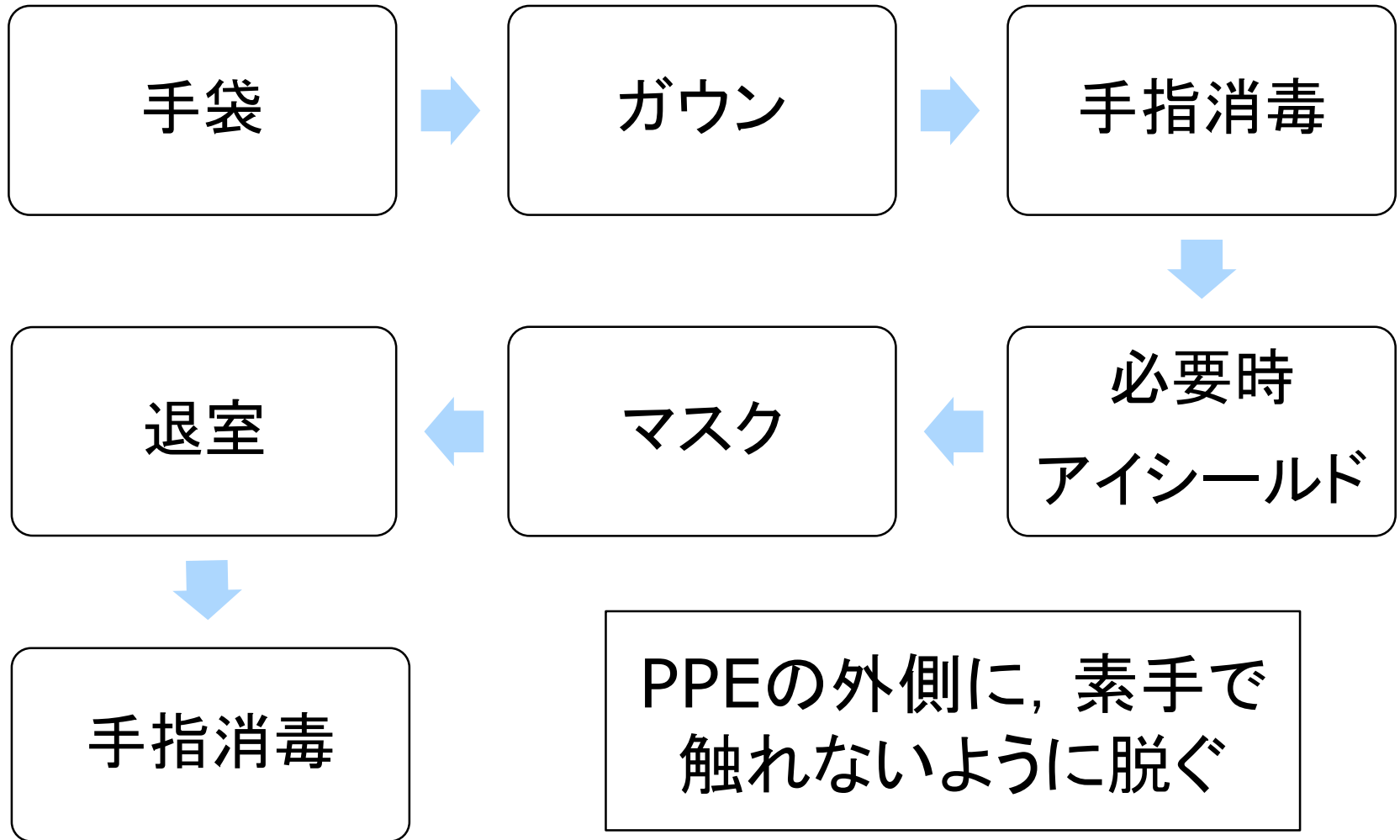


清潔区域を汚染させない



決められた脱衣スペースで脱衣し
PPE着用のまま清潔区域のものに触れない

PPE脱衣の順番



手袋の脱ぎ方



①手袋の手首の外側部分をつまむ



②手袋を引き上げて脱ぐ



③中表に脱いだ手袋を片手に握る



④手袋を脱いだ手の指先を片方の手首と手袋の間へ滑り込ませる



⑤手袋の外側に手が触れないよう注意しながら、手に握っている手袋に覆い被せるように外す



⑥2枚の手袋が汚染面を中表にして一塊となって脱げる

ガウンの脱ぎ方



①首・腰のリボンを解く



②袖口に逆の手を入れ片方の手を袖に入れる



③袖の中に入れてた手でもう片方の袖口をつまむ



④つまんだ方の手を引き抜く



⑤反対側の袖口に内側から手を入れる



⑥表面が内側になるように脱ぐ



⑦表面に触れないように小さく丸めて廃棄する

手袋を脱いだ後の手は汚染している



手袋を脱いだ後は手指消毒

施設内での手指衛生

石鹼と流水での
手洗い



アルコールでの
手指消毒



手指衛生は何を選ぶ？

- 手に目に見える汚れがあるときは流水と石鹼での手洗い

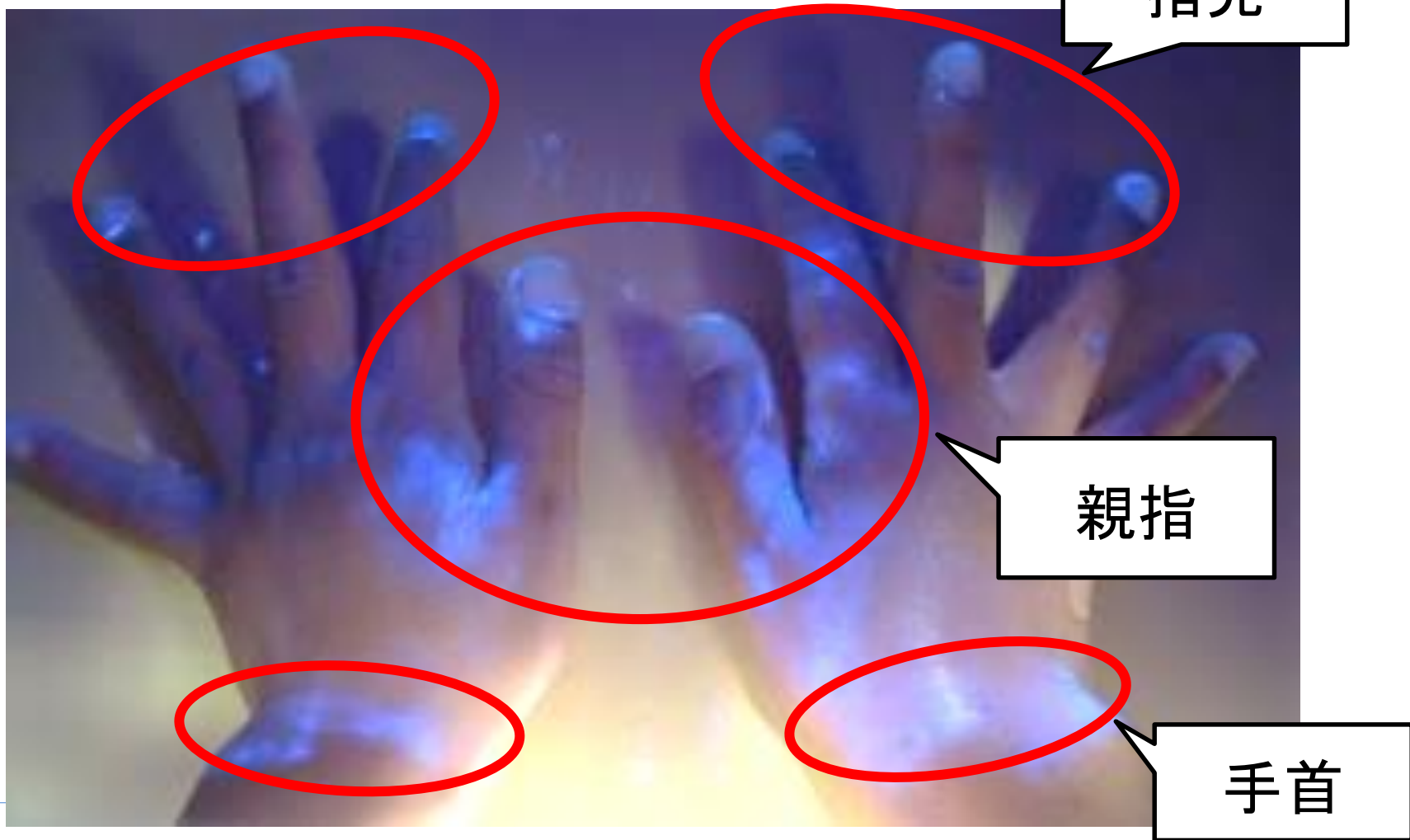
 - 手指消毒のメリット
 - 手洗い場がないところでもできる
 - 手洗いよりも手についた微生物の除去率が高い
-

手指衛生が必要な場面

- 出勤時
 - 患者エリアに入る前
 - 患者エリアから出た後
 - 食事の前, 食事の準備や介助の前
 - トイレの後, 排泄ケアの後, 吐物処理の後
 - 帰宅時
-

手洗いの落とし穴

手洗い残しが起きやすい場所

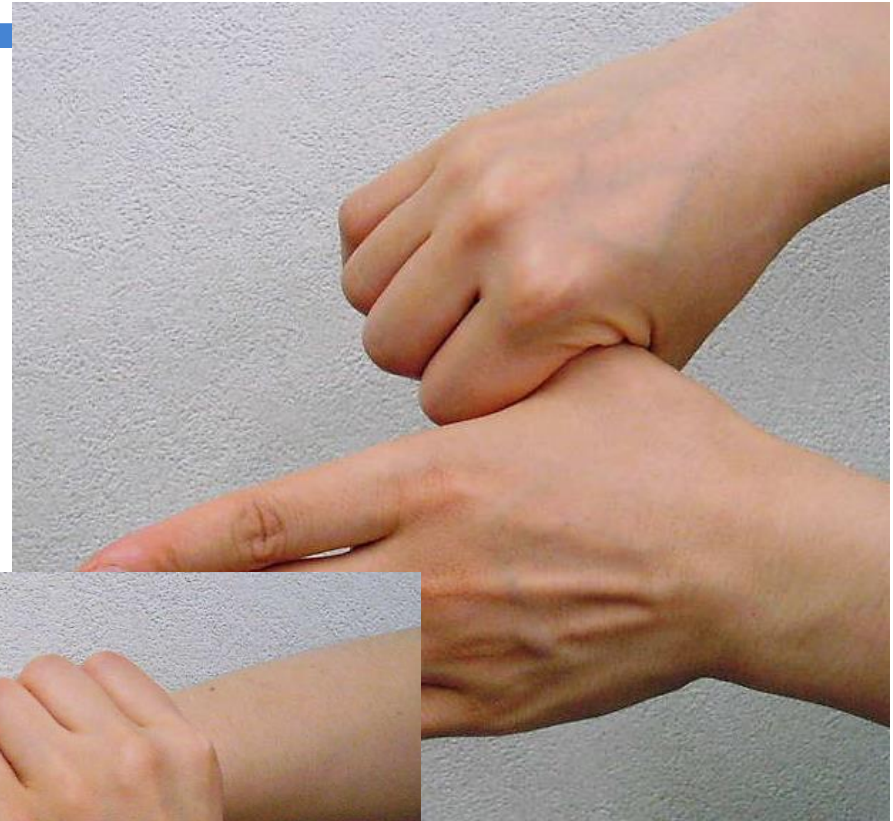
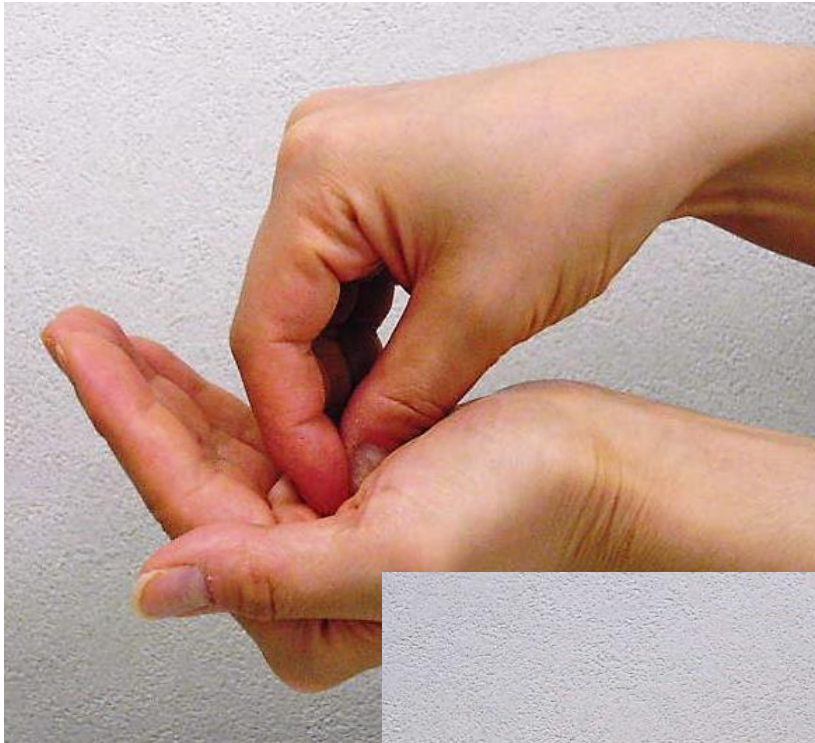


指先

親指

手首

手洗いのポイント



スタッフ同士の感染予防

- マスクを外すタイミングでは特に注意を要する
 - 食事・休憩
 - 大人数で食事しないよう時間の調整
 - 対面にならないように座る
 - 食事中は会話を控え、マスク着用後に会話する
 - 休憩時間を残しておく
 - 更衣室
 - 施設内に入るときからマスク着用
-

まとめ

- 施設内での二次感染予防のためには、陽性者を早く見つけて隔離することが大切
 - 清潔区域と不潔区域を明確にし、清潔区域を汚染させないような行動を取る
 - PPE脱衣場所には、手順を貼って、みんなが正しく、安全に脱げるような工夫を考える
-